令和８年 10 月 30 日

会 員 各位

公益社団法人八幡薬剤師会
会 長 有 吉 浩 文

令和８年度第７回八幡薬剤師会学術研修会のご案内
（製鉄記念八幡病院薬薬連携講習会）

平素より、本会事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今回製鉄記念八幡病院薬薬連携勉強会として、下記の内容で研修会を開催いたします。製鉄記念八幡病院薬剤部との連携を深めるとともに、薬物治療に関しての研鑽が目的となっております。
受講のお申し込みは、１１月１０日(火)までにお願いいたします。

記

日　　時：令和８年１１月１２日（木）19:30～21:05

場　　所：八幡薬剤師会館および web 研修(Zoom 配信)

商品説明：19:10～19:25　久光製薬　フェントステープ

内　　容：①「当院における外来がん化学療法患者への薬剤師の関与について
～連携充実加算・体制充実加算の取り組みの現状～」
製鉄記念八幡病院　薬剤部　秋山耕治
②「患者の予後を考えた処方の適正化について」
製鉄記念八幡病院　薬剤部　吉田要芽
③「痛みを抑えることの重要性について」
製鉄記念八幡病院　薬剤部　船越康太

要　　旨：　近年、外来がん化学療法の進歩に伴い、医療機関と保険薬局が一体となった安全かつ高度な投与管理、副作用モニタリングの重要性が急速に高まっている。製鉄記念八幡病院（以下、当院）においても、外来化学療法室で患者面談や保険薬局への情報提供を実施している。さらに今年度より、薬剤師が診察前に患者へ問診を行い、薬学的評価に基づく情報を医師へ提供することで算定可能となる「体制充実加算」の運用を開始した。
講演 1 では、当院における連携充実加算および体制充実加算の取り組みの現状について紹介する。また今年度の診療報酬改定では、服用薬剤調整支援料や薬剤総合評価調整管理料など、処方の適正化を推進する評価が充実された。講演 2 では、患者の予後を踏まえた処方の適正化について解説する。
がん性疼痛は身体的苦痛にとどまらず、精神的苦痛、社会的苦痛、さらにはスピリチュアルペインとも密接に関連している。そのため、適切な薬物療法によって痛みの悪循環を断ち切ることが極めて重要である。講演 3 では、近年の知見も交えながら、がん性疼痛マネジメントの重要性について解説する。

受 講 費：八幡薬剤師会正会員（Ａ会員･Ｂ会員）と学生：無料
他地区薬剤師会会員：500 円
非会員：3,000 円

申 込 み：　【参加登録】八幡薬剤師会会員・八幡地区非会員・直方鞍手薬剤師会会員の方は、下記 URL または QR コードから日薬研修プラットフォームにお申込みください。

https://nichiyaku.manaable.com/login

※受講費を納められた直方鞍手薬剤師会会員・非会員の方には、プラットフォームよりメールが届きます。

受講費振込先：福岡ひびき信用金庫　本店営業部

普通　1073984　公益社団法人八幡薬剤師会

単　　位：　日本薬剤師研修センター研修単位　１単位　申請中

・Zoom へのログインは、必ずご自身のお名前でお願いいたします。

・19 時 30 分までにログインしていない方、途中退出の方、継続したログインが確認できない方、司会より退出の連絡がある前にログアウトした方は、受講単位の認定は行えませんので、ご注意いただきますようお願いいたします。

以上